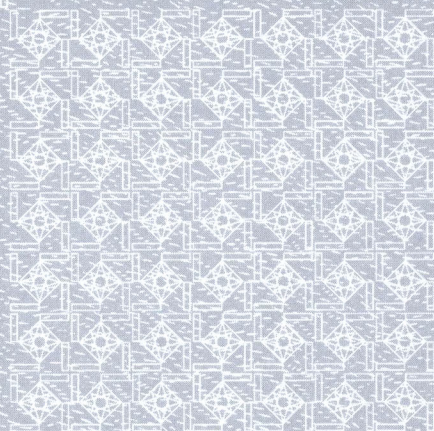
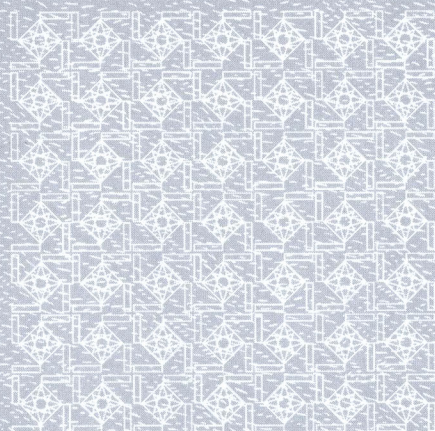


PRO MUSICA NIPPONIA



日本音楽集団

第142回◆定期演奏会～青葉に奏で～



1996年5月23日(木) 午後6時45分開演
津田ホール

主催：日本音楽集団

製作協力：奈良音楽事務所

〒151 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302

TEL03-3376-4741 FAX03-3376-2033

プログラム

一、組曲「人形風土記」(1966年)

長沢勝俊 作曲

〈ニポポ〉 〈こけし〉 〈流しびな〉 〈きじうま〉 〈木うそ〉

[笛] 西原 貴子

[尺 八] I 藤崎 重康・水谷 雅康 II 米澤 浩・石田 忠史

[細棹三味線] 山崎千鶴子 [太棹三味線] 田中悠美子 [琵琶] 石田 さえ

[箏] I 熊沢栄利子・大泉 一美 II 久東 寿子・高橋はるな

[十七絃] 桜井 智永・城ヶ崎美保

[打楽器] 高橋 明邦・望月太喜之丞

[指揮] 稲田 康

二、青のモチーフによるコンポジション (1984年)

佐藤敏直 作曲

[笛] 西川 浩平

[尺 八] I 宮田耕八朗 II 坂田 誠山

[三味線] 野口美恵子 [琵琶] 田原 順子

[箏] I 花房はるえ II 木村 玲子 [十七絃] 宮越 圭子

[打楽器] 尾崎 太一・黒坂 昇

[指揮] 稲田 康

—— 休 憩 ——

三、邦楽器の為の協奏的変容「傀儡曼陀羅」(委嘱初演)

今井 重幸作曲

[笛] 西川 浩平

[尺 八] I 坂田 誠山・添川 浩史 II 米澤 浩・石田 忠史

[太棹三味線] 工藤 哲子 [琵琶] 石田 さえ

[箏] I 木村 玲子・佐藤 里美 II 熊沢栄利子・桜井 智永

[十七絃] 大畠菜穂子・久東 寿子

[打楽器] 望月太喜之丞・立枝 恵子

[指揮] 田村 拓男

四、組曲「人形風土記」第二番 (1984年)

長沢勝俊 作曲

〈三春人形〉 〈いづめこ人形〉 〈すすきみみずく〉 〈友引人形〉 〈凧(はた)〉

[笛] 西原 貴子

[尺 八] I 宮田耕八朗・水谷 雅康 II 藤崎 重康・添川 浩史

[細棹三味線] 野口美恵子 [太棹三味線] 田中悠美子

[琵琶] 田原 順子 [胡 弓] 畦地慶司

[箏] I 吉村 七重・大畠菜穂子 II 花房はるえ・城ヶ崎美保

[十七絃] 宮越 圭子・佐藤 里美

[打楽器] 尾崎 太一・高橋 明邦

[指揮] 田村 拓男



今井 重幸 プロフィール

作曲を伊福部昭、Edgar Varèseに師事。主な作品には「交響曲」「打楽器群とオーケストラのための協奏的変容〈沖繩〉」の他、映画音楽「愛は惜しみなく」「燃えろ青春」「命どう宝」「繪金」「神々の履歴書」他、TVドラマに「蜘蛛の糸」「朴子春」「ビルマの豎琴」等、舞踊・演劇・映画・テレビ等の音楽が多い。邦楽作品としては「農樂舞」「青峯悠映」「仮面舞第二番」等がある。現在は現代舞台芸術協会理事、東京造形大学講師。

二つの組曲「人形風土記」

日本には数多くの単純、素朴な郷土人形や郷土玩具がある。これらは、われわれが祖先から受けついできた生活や心を、しっかりと形におさめ、現代に受けつがれている。それは古拙ではあっても絶妙な美をもって今のわれわれに、何ものかを語りかけてくる。私は音楽集団32年の中で、これらの人形に触発され二つの組曲「人形風土記」を書いた。一作目は集団創立2年目の1966年、第4回定期演奏会で、また、二作目は1984年、第85回定期演奏会において初演された。

第一作は北海道の「ニポポ」(アイヌに伝わる木彫りの信仰人形)から九州福岡の「木うそ」(太宰府天満宮の行事に使われる木彫りの鳥)にいたる六曲よりなる組曲。第1曲と第6曲は全合奏で、他の4曲は日本楽器の特性を生かした編成により、それぞれの人形の個性を強調している。

第二作は福島の「三春人形」(三春地方に江戸時代から伝わる張り子人形)にはじまり、帆船の「風(はた)」(豊作への祈念や感謝・空へのあこがれと庶民の夢)にいたる五曲よりなる組曲。これは胡弓も入る全合奏が主体となっており、アンサンブルによる音色と表現の立体化をこころみた。

今回は二曲とも初演のメンバーも多く加わり、年月を経て一層熟成した味わい深い「人形風土記」を聴けるのを楽しみにしている。(長沢勝俊)

青のモチーフによるコンポジション

1984年の委嘱作品で、日本音楽集団20周年記念シリーズで初演された。純粋な邦楽器のための作品では、ちょうど十作目に当たる曲であった。当時、以前に書いた「ディヴェルティメント」とは趣を異にしたものを書きたいと思っていたこともあって、邦楽器を一段と色彩的に発言させることは出来ないものかと考えた。それは、もしあの水彩画独自の自然な色調に相応しい絵具の使い方があるとすれば、それに不用意に逆らった方法で絵を描くのに似た冒険だったかもしれないが、どうしても一度は通ってみたい音楽的な要求だった。

そこで、下降する「ド・ソ・ファ・レ」というモードを、青のモチーフと手前勝手に名付けた。そうしてこの「青」に多様な意味を持たせるために、それ以外の、想像し得る様々な色彩の濃淡と清濁とを、集まった楽器に通わせ、予想できる混沌も是として構築したのだった。(佐藤敏直)

邦楽器群のための協奏的変容

くぐつまんだら 「傀儡曼陀羅」

傀儡くぐつとは日本古代の漂白芸能民の集団で、狩と曲芸に長じ、今様を歌い操り人形を舞わせる傀儡師として諸国を流浪した。その態様に関しては平安時代の大江匡房によって「傀儡子記」に克明に記述されている。その後、義太夫節に合わせる辻芸から慶長年間には人形浄瑠璃の発祥に結び着くのである。

又その源流を辿ると朝鮮半島、そして中国には今も残存する「扁担木偶戲へんだんでくぎ」、「斜箭堤陽戲しゃせんていようぎ」に到達する。四川省広元の秘境龍江村の李家に今も伝承される祭儀に使われる三十二体の傀儡戲。

八世紀唐の玄宗皇帝の七言絶句にも「傀儡」は登場する。山東省萊西県岱野村の墳墓遺跡の柳室内から発見された大傀儡木偶は西漢時代つまり二千年も前のものであり、同時に発見された七体の殉死者に替えた木桶の中には琴や笛を演じてるものもある。

「傀儡曼陀羅」はその様な汎東アジア芸能の二千年にも亘る流転の軌跡と、傀儡子達のヴァイタリティーのイメージを、序章から終章に到る連続する五章で構成。大曼陀羅の視覚表現の構図を邦楽器の音感覚で捉え、それを発展・展開・変容し表現した作品。(今井重幸)

日本音楽集団 最近のおもな活動

(1995年11月より)

- 11月2日(木) 金沢公演(いしかわ秋の芸術祭'95) 金沢市観光会館
 11月6日(月) 「芸団協の30年を語る宴」に出演 東京会館
 11月9日(木) 総持寺公演～曹洞宗婦人会創立20周年記念大会
 曹洞宗大本山総持寺鶴見女子高校講堂
 11月13日(月) ～18日(木) 山形県中学校巡回学校公演
 11月17日(金) 第140回定期演奏会～邦楽アンサンブルの醍醐味 津田ホール
 11月25日(土) 奈良親と子の劇場 榎原文化会館
 12月2日(土) 宝仙小学校音楽鑑賞会
 1996年
 1月20日(土) 愛媛県伊予三島市公演 伊予三島市民会館
 1月24日(水) 幼児音楽オリジナル作品展 中野もみじ山文化センター
 1月30日(火) 第141回定期演奏会～秋岸寛久作品集 バリオホール
 2月8日(木) 関市文化会館音楽鑑賞会 関市文化会館
 2月11日(土) 日本音楽集団コンサート 名古屋市中村文化小劇場
 2月18日(日) 岩倉市公演(市民芸術劇場) 岩倉市総合体育文化センター
 3月9日(土) 郷土人形たちのつぶやき かつしかシンフォニーヒルズ
 5月8日(水) 小倉北子ども劇場 小倉市民会館
 5月10日(金) 三泗子ども劇場 四日市文化会館第一ホール
 5月11日(土) 名古屋市おやこ劇場 愛知県勤労会館
 5月18日(土) あしがら子ども劇場 松田町民文化センター
 5月23日(木) 第142回定期演奏会～青葉に奏で 津田ホール

- 6月1日(土) 田園調布雙葉中学校音楽鑑賞教室
 6月7日(金) 東洋英和女子学院中学部音楽鑑賞教室
 6月9日(日) 新潟公演 新潟市音楽文化会館
 6月10日(月) 東京子ども音楽フェスティバル「竹取物語」 大田区民プラザ大ホール
 6月12日(水) 福井県学校公演 鯖江市文化センター・能楽の里文化交流会館
 6月18日(火)～21日(金)、24日(月)～26日(水) 長崎県巡回学校公演
 6月29日(土) 東京子ども音楽フェスティバル「八郎物語」練馬文化センター小ホール
 7月3日(水) 東京子ども音楽フェスティバル「ニポポゆめの旅」
 大田区民プラザ大ホール
 7月7日(日) 横浜市緑区芸術祭96 緑区公会堂
 7月10日(水) 第143回定期演奏会～海外からの作品集そのIV バリオホール
 7月19日(金) 東京音楽子どもフェスティバル「ニポポゆめの旅」 品川きゅりあん
 8月3日(土) 古座川町公演 古座川河川敷
 8月4日(日) 串本市公演 串本町文化センター
 9月10日(火) 第144回定期演奏会～打楽器作品集 津田ホール

.....オーケストラ・アジア96年公演(協力事業).....

芸術祭(文化庁主催公演)「アジア・アートフェスティバル」

- 9月20日(金)・21日(土) 東京公演 国立劇場大ホール(21日=昼夜2回公演)
 23日(月) 岐阜公演 岐阜市長良川国際会議場

オーケストラ・アジア日本・中国ツアー

- 12月4日(水) 大阪公演 ザ・シンフォニーホール
 6日(金) 富山公演 富山シンフォニーホール
 7日(土) 神戸公演 神戸文化ホール
 8日(日) 福岡公演 アクロス福岡シンフォニーホール
 10日(火) 仙台公演 仙台市泉文化創造センター
 11日(水) 東京公演 東京芸術劇場
 14日(土)・15日(日) 北京公演

日本音楽集団今後の予定とおもな演奏曲目

日本音楽集団

名誉代表 長沢 勝俊
 代表 田村 拓男
 副代表 尾崎 太一
 運営委員長 米澤 浩

名誉団員 山田美喜子
 坂井 敏子
 白根きぬ子

〈幹部団員〉
 宮田耕八郎(尺八)
 坂田 誠山(尺八)
 尾崎 太一(打楽器)
 西川 啓光(打楽器)
 田村 拓男(指揮・打楽器)
 長沢 勝俊(作曲)

〈団友〉
 青木 誠 清水 義矩
 秋浜 悟史 杉浦 弘和
 荒谷 俊治 砂崎 知子
 稲垣 隆史 芹沢 英雄
 大窪 悦子 高野 文子
 小田切清光 田嶋 直士
 川崎絵都夫 田中 利光
 川崎 祥悦 鶴野 和子
 菊地 梯子 戸井 昌造
 楠 知子 藤舎 呂悦
 鞍掛 昭二 藤舎 呂船
 鯉沼 広行 仲俣申喜男
 坂田 進一 半田 淳子
 佐藤 敏直 広瀬 量平
 芝 祐靖 福田 輝久
 鳳声 晴由

星 旭
 増田 睦実
 宮本 幸子
 望月 太八
 元橋 康男
 矢崎 明子
 柳家小三治
 横山 勝也
 吉沢 昌江

〈日本音楽集団地方支部〉
 ★道東支部 谷藤瀾
 竹馬巨
 ★新潟支部 飯吉正山
 郷見
 山梨支部 郷見
 長野支部 佐藤幸宇山
 水戸支部 斉藤幸山
 ★愛知支部 山田孝子

TEL
 TEL & FAX
 TEL
 TEL
 TEL
 TEL
 TEL & FAX

★愛媛支部 渡辺治子
 長崎支部 牧山雅楽部
 熊本支部 古川安春

TEL & FAX
 TEL
 TEL
 TEL
 ★印=新支部

〈正団員〉
 西川 浩平(笛)
 西原 貴子(笛)
 西原 祐二(ヒチリキ・笙)
 三橋 貴風(尺八)
 藤崎 重康(尺八・笛)
 竹井 誠(尺八・笛)
 ★米澤 浩(尺八)
 ★水川 寿也(尺八)
 ★水谷 雅康(尺八)
 ★添川 浩史(尺八)
 ★石田 忠史(尺八)
 畦地 慶司(胡弓・作曲)
 野口美恵子(三味線)
 太田 幸子(三味線)
 ★箕田 司郎(三味線)
 田中悠美子(三味線)
 工藤 哲子(三味線)
 坂口 美香(三味線)

田原 順子(琵琶)
 山田まゆ美(琵琶)
 石田 さえ(琵琶)
 吉村 七重(箏)
 花房はるえ(箏・三味線)
 宮越 圭子(箏)
 木村 玲子(箏)
 熊沢栄利子(箏)
 大島菜穂子(箏)
 桜井 智永(箏)
 山田 明美(箏)
 島崎 春美(箏)
 久東 寿子(箏)
 佐藤 里美(箏)
 大泉 一美(箏)
 城ヶ崎美保(箏)
 高橋 明邦(打楽器・指揮)
 黒坂 昇(打楽器)
 ★仙道新太郎(打楽器)

望月太喜之丞(打楽器)
 白杵美智代(打楽器)
 稲田 康(指揮)
 三木 稔(作曲)
 ★秋岸 寛久(作曲)
 中島 隆(楽器・舞台)

前川美保子(箏)
 丸岡 映美(箏)
 立枝 恵子(打楽器)
 杉浦 邦雄(打楽器)
 佐藤 容子(作曲)
 協力団員 伊藤 惣一
 地方在住団員 田嶋恵美子
 事務局 霜島 素子
 丸岡 映美
 阿部 則子
 参 与 奈良 義寛
 監 事 芹沢 英雄
 一九九六年五月一日現在

★印=本年度運営委員

箏

二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、楽器の本質を追求した箏

日本音楽集団推薦

琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL(3792)8481 FAX(3792)8437



アイ・エム・エス ●楽器リース●保管●移動●ステージ・スタッフ派遣

〒167 東京都杉並区上荻 2—3—4

ゆうてんビル

PHONE. 03-3397-2292

FAX. 03-3397-7728